

火災予防かわら版～駿東伊豆消防本部～

令和6年中の駿東伊豆消防本部管内の火災発生件数は、前年比 36 件減の 126 件で、おおむね3日に1件の割合で火災が発生しました。また、人口1万人当たりの出火件数（出火率）は 3.21 件で、静岡県平均 2.67 件や全国平均 2.97 件を上回り、他の地域に比べ火災の多い地域となっています。

出火原因については、「電気機器・電気装置」や「たき火・火入れ・取灰」によるものが最も多く、次いで、「たばこ」、「放火・放火の疑い」の順となっており、火気の取扱いに注意していれば多くの火災は防ぐことができた可能性があります。

火 災 発 生 件 数								
	管 内	沼津市	清水町	函南町	伊豆の国市	伊豆市	伊東市	東伊豆町
令和6年	126	46	6	6	15	22	26	5
令和5年	162	74	9	18	20	17	19	5
増 減	−36	−28	−3	−12	−5	+5	+7	±0
出 火 率	3.21	2.53	1.94	1.71	3.33	8.46	4.19	4.55

駿東伊豆消防本部管内では、次のような火災が多く発生しています。

「リチウムイオン電池」による火災

リチウムイオン電池は、高温・多湿となる場所での保管や強い衝撃を与えると「発煙・発火」するおそれがあります。リチウムイオン電池が混入したゴミにより、ゴミ収集車から出火した事例も報告されています。



電子タバコ モバイルバッテリー など・・・



リサイクルマーク

リチウムイオン電池には
このマークが表示されています。

★リチウムイオン電池を廃棄の際は、各市町の分別ルールに必ず従い廃棄しましょう。



「野焼き(屋外での焼却行為)」による火災 ※ 野焼きは、原則禁止されています。

「野焼き」による火災により、複数の建物に延焼した事例のほか、「野焼き」を行っていた人が重いやけどを負った事例も報告されています。「野焼き」をしている間はその場を離れず、「野焼き」が終わったあとは確実に消火してください。また、空気の乾燥時や強風時には「野焼き」は行わないでください。



「たばこ」による火災

たばこの投げ捨てや、確実に消火していないたばこの吸い殻をゴミ箱に捨てたことにより、火災に至った事例が報告されています。「たばこ」による火災を防ぐために、以下の点に注意しましょう。

- ・たばこの投げ捨ては、絶対にしない。
- ・たばこの吸い殻は水をかけるなど確実に消火する。
- ・寝たばこはしない。



ご自宅に住宅用火災警報器を設置していますか？

住宅用火災警報器は、火災により発生する煙を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器で、寝室と寝室がある階の階段上部への設置が義務付けられています。

火災から大切な人の命を守るため、火災の発生を早期に知らせてくれる「住宅用火災警報器」の設置と適正な維持管理に努めましょう。

また、設置してから10年経過若しくは異常が発生したら交換しましょう!!



住宅用火災警報器の点検方法!!

- 1 本体のボタンを押すか、付属の引きひもを引いて点検します。
- 2 正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。

※ 作動確認をしても警報器に反応がなければ本体の故障か電池切れです。

※ 警報音以外の音が鳴った場合も本体の故障か電池切れです。

地震時の電気火災を防ぐ感震ブレーカー

過去の大規模地震において、電気を原因とした火災が多く発生しています。地震時の電気火災リスクを低減するため、感震ブレーカーを設置しましょう。



分電盤タイプ (内蔵型)	分電盤タイプ (後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円 (標準的なもの)	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要



@SUNTOIZU_FD_OFFICIAL

【問合せ先】

駿東伊豆消防本部 消防部予防課

駿東伊豆消防本部 HP インスタグラム

TEL 055-920-9101

